

ヤマハ（株）人事部健康安全推進室（健康管理センター）＜オーダーメイドの個別栄養指導＞

＜背景＞

高齢化と健康保険組合の財政悪化の中で、医療費抑制対策として、予防に軸足を置いた健診体制に移行。健診情報の一元化とシステムの共同開発、「ヤマハグループ健康憲章」による目標値設置。建屋移転に際し健診方法を集中型の集団から均しの誕生月健診に変更するとともに保健指導の本格的導入となる。

＜目的＞

食生活の改善により、肥満をはじめ生活習慣病等の疾病への移行防止、及び遅延のために、気づきから自助努力による行動変容を促す。また、情報提供等による予防活動に努める。

もって、生産性の向上、家族の健康、医療費の削減に寄与する。

＜対象＞

ヤマハ健康保険組合に所属する、ヤマハ株及びそのグループに勤務する従業員及び家族で、栄養・食生活の改善が求められるもの。

- ①健診結果の階層化後、医師の診察・看護職の保健指導から依頼、本人希望。
- ②健診後の再検査結果及び診療より必要に応じ、医師・看護職から依頼。
- ③本人の希望及び家族の相談、海外駐在者（医師依頼：メール）。

＜内容＞

- ① 定健の経年データ・カルテを基に、健診当日又は後日、管理栄養士による個別栄養指導。

状況に応じ日程を調整し、工場出向・時間外・奥様同席あり。

栄養指導内容

- ・ 依頼者（医師・看護職）の指導内容及び投薬の確認。
- ・ 本人の訴え、希望 等。体重（20歳時、ピーク体重と年齢）。
- ・ 生活環境（家族構成、勤務状況、生活リズム、運動、飲酒 等）。
- ・ 食事摂取状況の問診。
- ・ 検査データの説明。
- ・ 評価：検査データと食生活の問題点と関連の説明。
- ・ 食品摂取目安量と摂取量の差、タイミング等の理解を促す。
- ・ 栄養計画：改善するための方法を示し指導。
- ・ 説明指導したことをチェックシートに記し、確認をしながらその他資料とともに渡す。家庭内での話し合いを薦める。
- ・ 「栄養指導報告書」作成。依頼者への報告と確認押印後カルテまたは健診フォルダに保管し情報を共有化する。
- ・ 「栄養指導後再検結果」を添付、再検データの報告。
- ・ 結果個別評価。文書指導・診療・継続指導。
- ・ 集計による栄養指導の業務評価。

個人データの推移・母集団との比較等